

— ブックレット「NHK番組改変事件」出版記念 —

第36回 放送フォーラム 危機にあるテレビ制作現場



いま、テレビ制作現場の疲弊が深刻さを増しています。制作費の切り下げ、劣悪な労働条件。制作会社と現場労働者の無権利の状態、改善をかちとるための組織の不在、等々、番組制作という文化が危機にさらされている、と憂慮する声が各地で上がり始めました。

1月に刊行した「NHK番組改変事件・制作者9年目の証言」は、番組制作の生々しい実態の例を明らかにしました。この出版を記念して、テレビ制作現場の危機が何をもたらすのか、放送メディアや、放送・通信行政に市民は何を要求すべきなのか、討論し、考えます。どうかご参加下さい。

(ブックレットは予想を超えた売れ行きで、現在2刷りです。)

第1部【基調報告】「いまテレビ制作現場で何が起きているか」

野中章弘氏(アジアプレス・インターナショナル代表)

第2部【討論】ブックレット「NHK番組改変事件」をどう読んだか。今につながる

問題は何か ～参加者とゲストの討論～

ゲスト 松田浩氏(放送研究者) 永田浩三氏(元NHKプロデューサー)

野中章弘氏

※ 緊急報告

「今国会での通信・放送の法体系の改定の動き・放送法改正案の問題点」

2010年3月27日(土)

13:30～16:30

渋谷勤労福祉会館第一洋室

TEL 03-3462-2511

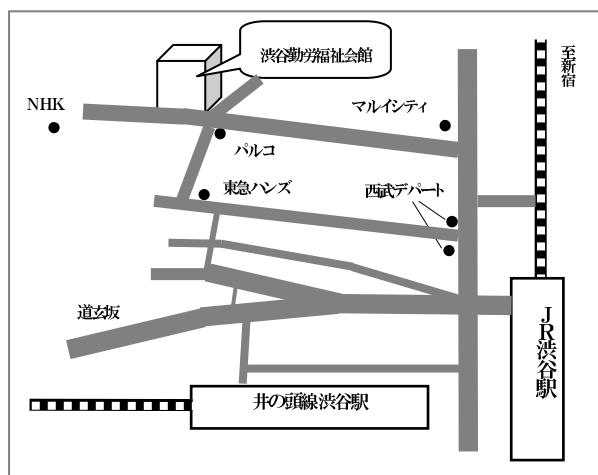
(渋谷駅から公園通りをNHK方面へ。パルコのある交差点)

終了後懇親会を予定(会費 4000円程度 学生半額)

主催 放送を語る会

協賛 メディア総合研究所

日本ジャーナリスト会議



放送を語る会HP http://www.geocities.jp/hoso_katarukai